島根県・鳥取県

# 古事記・日本書紀・出雲國風土記
# 神話ゆかりの地
## 周遊ドライブマップ

神がすむといわれる霊峰・大山から
中海・宍道湖をへて出雲平野まで、
いにしえの時代から
この地には語りつがれて来た
数々の神話がある。
神々に近い国、
「因幡國」「伯耆國」「出雲國」の
神話にゆかりの地をのんびりと
車でたずねる旅はいかがですか。


山陰 まんなか観光局
(一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局
監修：島根県立古代出雲歴史博物館

### 古事記とは？

古事記は日本最古の歴史書です。712年（和銅5年）に太安万侶（おおのやすまろ）によって献上され、2012年（平成24年）に1300年を迎えました。古事記上巻には世界の始まりや天岩戸、ヤマタノオロチ退治や因幡のシロウサギなどの有名な日本の神話が書かれています。出雲地方を舞台にした神話はその上巻のおよそ3分の1を占めています。

### ヤマタノオロチ神話

昔々、スサノオが出雲の国にやってきました。すると斐伊川の上流で、一人の娘を囲んで泣いている老夫婦がいました。スサノオが理由を尋ねると「ヤマタノオロチに娘のクシナダヒメが食べられてしまう」とのこと。スサノオは「その娘を私に差し出すなら、オロチを退治してやろう。強い酒を造って置いておくようにといいました。やがてオロチが地響きを立てながらやってきてガブガブと酒を飲み始め、酔っ払って、眠り始めました。その時、スサノオは刀を振りかざし、オロチの体を切り刻みました。オロチを無事退治したスサノオは、出雲の国に姫と住むための宮殿を造ることにしました。スサノオは「八雲立つ　出雲八重垣　妻ごみに　八重垣作る　その八重垣を」と詠みました。これが日本で初めて詠まれた和歌とされています。その後二人には多くの子どもが生まれ、その子孫のひとりが「因幡のシロウサギ」でも有名なオオクニヌシ（だいこく様）といわれています。出雲大社は、そのオオクニヌシをお祭りしています。

### 因幡のシロウサギ神話

オオクニヌシ（だいこく様）には大勢の兄弟がおり、そのなかでもいちばん心のやさしい神様がオオクニヌシでした。兄弟たちは因幡の国にヤガミヒメという美しい姫がいると聞き、会いに行くことにしました。一行は途中で泣いている一匹のうさぎを見つけ、オオクニヌシは訳を聞きました。「沖合いの島からこちらに渡ってみたいと思い、ワニザメに自分の仲間とどっちが多いか、くらべっこしようといいました。ワニザメは私のいうとおりに背中を並べて、私はその上を数を数えるふりをしながら渡っていきました。もう少しというところで私はだましたことをついいってしまい、ワニザメを怒らせてしまいました。その仕返しにワニザメに皮を剥れてしまったのです」。オオクニヌシはそれを聞いて「すぐに真水で体を洗い、ガマの穂の上に寝転ぶといい」と教えてやりました。うさぎはいわれたとおりにすると傷が治り、すっかり元気になりました。その後、兄弟たちよりもずい分遅れてオオクニヌシは因幡の国に着きましたが、ヤガミヒメが夫にと求めたのは心やさしいオオクニヌシだったのです。

### 日本書紀とは？

「日本書紀」は720年（養老4年）に完成した政府公認の正史です。「古事記」の成立から8年後のことでした。天武天皇が、治世晩年の681年（天武10年）に「帝紀」および「上古諸事」の編纂を川島皇子（かわしまのみこ）や忍壁皇子（おさかべのみこ）らに命令しました。それからおよそ40年後の720年に舎人親王（とねりしんのう）が元正天皇に、その完成を奏上しました。「日本書紀」は、30巻と系図1巻からなり、「天地開闢」から持統天皇までを扱っています。

### 出雲国風土記とは？

「出雲国風土記」は、733年（天平5年）に完成した、ほぼ完本の形で今日に伝わる唯一の風土記です。地名の由来を語るなかで出雲に伝えられていた神話が記されているのが特徴で、ヤツカミズオミヅヌの「国引き」のように古事記、日本書紀にはない神話も記されています。風土記の記述から、古代日本の各地に伝えられた神話の多様性や奥深さを知ることができます。

## 交通アクセス

### 車で
※各IC間
※所要時間：交通状況の安定している場合の目安

ドラぷら！ 検索

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◆岡山から | 米子へ | 山陽道～岡山道～中国道～米子道 | 約1時間47分 |
| | 松江へ | 山陽道～岡山道～中国道～米子道～山陰道 | 約2時間21分 |
| | 出雲へ | 山陽道～岡山道～中国道～米子道～山陰道 | 約2時間48分 |
| ◆広島から | 出雲へ | 山陽道～広島道～中国道～松江道～山陰道 | 約2時間18分 |
| | 松江へ | 山陽道～広島道～中国道～松江道～山陰道 | 約2時間16分 |
| | 米子へ | 山陽道～広島道～中国道～松江道～山陰道 | 約2時間50分 |

### 高速バスで

| | | |
|---|---|---|
| ◆東京から | 米子へ | （夜行）10時間20分／11時間5分 |
| | 松江・出雲へ | （夜行）11時間／12時間 |
| ◆大阪から | 米子へ | 3時間35分／4時間15分 |
| | 松江・出雲へ | 4時間37分／5時間32分 |
| ◆広島から | 米子へ | 3時間38分 |
| | 松江・出雲へ | 3時間15分／3時間22分 |
| ◆岡山から | 米子へ | 2時間33分 |
| | 松江・出雲へ | 3時間6分／4時間1分 |

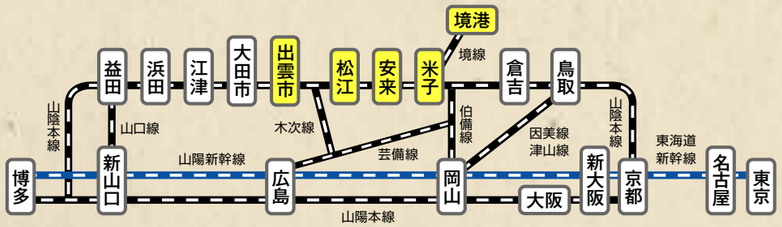
### 飛行機で

| | | |
|---|---|---|
| ◆東京（羽田空港）から | 米子鬼太郎空港へ | 1時間20分 |
| | 出雲縁結び空港へ | 1時間30分 |
| ◆大阪（伊丹空港）から | 出雲縁結び空港へ | 50分 |
| ◆福岡空港から | 出雲縁結び空港へ | 1時間5分 |
| ◆静岡空港から | 出雲縁結び空港へ | 1時間25分 |
| ◆名古屋（小牧空港）から | 出雲縁結び空港へ | 1時間5分 |
| ◆名古屋（中部国際空港）から | 出雲縁結び空港へ | 1時間5分 |

### 鉄道（新幹線・特急）で
※乗り換え時分含む ※所要時間は最短の場合

JRおでかけネット 検索

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◆東京から | 米子へ | のぞみ（岡山のりかえ）・やくも | 5時間34分 |
| | | 寝台特急「サンライズ出雲」 | 11時間15分 |
| | 松江へ | のぞみ（岡山のりかえ）・やくも | 5時間59分 |
| | 出雲市へ | のぞみ（岡山のりかえ）・やくも | 6時間24分 |
| ◆新大阪から | 米子へ | のぞみ（岡山のりかえ）・やくも | 3時間7分 |
| | 松江へ | のぞみ（岡山のりかえ）・やくも | 3時間30分 |
| | 出雲市へ | のぞみ（岡山のりかえ）・やくも | 3時間56分 |




## お問い合わせ先

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ■出雲エリア | 出雲市駅観光案内所 | 693-0007 | 島根県出雲市駅北町11 | TEL0853-30-6015 |
| ■松江エリア | 松江国際観光案内所 | 690-0003 | 島根県松江市朝日町665JR松江駅北口 | TEL0852-21-4034 |
| ■安来エリア | 安来市観光案内所 | 692-0011 | 島根県安来市安来町2093-3（観光交流プラザ内） | TEL0854-23-7667 |
| ■境港エリア | 境港市観光案内所 | 684-0004 | 鳥取県境港市大正町215みなとさかい交流館1階 | TEL0859-47-0121 |
| ■米子エリア | 米子市国際観光案内所 | 683-0036 | 鳥取県米子市弥生町12 | TEL0859-22-6317 |
| ■島根県全体 | （社）島根県観光連盟 | 690-0887 | 島根県松江市殿町1番地（県庁観光振興課内） | TEL0852-21-3969 |
| ■鳥取県全体 | （社）鳥取県観光連盟 | 680-0805 | 鳥取県鳥取市相生町4-411 | TEL0857-39-2111 |
| ■島根県立古代出雲歴史博物館 | | 699-0701 | 島根県出雲市大社町杵築東99-4 | TEL0853-53-8600（代） |


制作：（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局
山陰 まんなか観光局
※令和7年3月作成

# 神話ゆかりの地

「古事記」や「日本書紀」、「出雲国風土記」に記された、ゆかりの地をご紹介します。いにしえの物語に想いを馳せて、訪れてみてはいかがでしょう。

裏面の地図の端に記載のブロック記号でスポットのおよその場所がわかります。例）MAP/E-2

御朱印 写真上にこのマークがある神社では、御朱印がいただけます。詳しくは各神社へお問い合わせください。

## 1 出雲大社（いずもおおやしろ） MAP/B-2

### 平成の大遷宮を終えた縁結びの神社

オオクニヌシの国譲りに伴って造営された壮大な宮殿が、出雲大社の起源とされます。広大な境内には本殿を中心に宝庫、拝殿、宝物殿、神楽殿などが建ち並び、厳かな雰囲気に包まれています。また、神楽殿にかけられたしめ縄は日本有数の大きさです。現在の本殿は1744年に造営された高さ24メートルのもので、神社建築のなかでは最も高いものです。かつては48メートルあったといわれています。平成25年5月に本殿遷座祭が行われ、平成31年に平成の大遷宮が完遂しました。

◎交通／山陰道出雲ICから車で15分
◎駐車場／385台・無料
◎場所／島根県出雲市大社町杵築東195
◎問／出雲大社社務所 0853-53-3100

## 2 日御碕神社（ひのみさきじんじゃ） MAP/B-1

日本海を望む場所にある神社で、「神の宮」にスサノオ、「日沈宮」にアマテラスを祭ります。出雲地方に珍しい権現造りの神社となっています。

◎交通／出雲大社から車で20分
◎駐車場／約20台・無料
◎場所／島根県出雲市大社町日御碕455
◎問／日御碕神社社務所 0853-54-5261

## 3 須佐神社（すさじんじゃ） MAP/B-3

「出雲国風土記」によると、スサノオがこの地に到着して、「ここは小さい国だけれども、住むに適した場所だ」と述べて、「大須佐田」「小須佐田」と名付け、御魂を鎮めたと伝えられています。

◎交通／山陰道出雲ICから車で40分
◎駐車場／約30台・無料
◎場所／島根県出雲市佐田町須佐730
◎問／須佐神社社務所 0853-84-0605

## 4 御井神社（みいじんじゃ） MAP/C-2

オオクニヌシとヤカミヒメの間に生まれた子で、安産の神であるミイ（コノマタ）を祭る神社。周辺にある3つの井戸はヤカミヒメが産湯に使ったとされています。

◎交通／JR直江駅から車で5分
◎駐車場／約10台・無料
◎場所／島根県出雲市斐川町直江2518
◎問／御井神社 0853-72-3146

## 5 稲佐の浜（いなさはま） MAP/B-2

オオクニヌシと高天原からの使者タケミカヅチが国譲りの交渉をした場所。旧暦10月10日には、八百万の神々を迎える「神迎神事」が斎行されます。

◎交通／出雲大社から車で2分
◎駐車場／約20台・無料
◎場所／島根県出雲市大社町杵築
◎問／出雲観光協会 0853-31-9466

## 6 韓竈神社（からかまじんじゃ） MAP/B-2

祭神はスサノオ。石段を登り、巨大な岩の間を人がやっと通れるくらいの割れ目をくぐって参拝します。スニーカーやズボンなど、動きやすい格好での参拝がおすすめ。

◎交通／出雲ICから車で50分
◎駐車場／10台
◎場所／島根県出雲市唐川町後野408
◎問／鰐淵コミュニティーセンター（平日）0853-66-0001

## 7 命主社（いのちぬしのやしろ） MAP/B-2

出雲大社の境外摂社。オオクニヌシの難を救ったカミムスヒが祭られています。社前には樹齢1000年といわれるムクの巨木がそびえています。

◎交通／出雲大社から徒歩5分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県出雲市大社町杵築東
◎問／出雲大社社務所 0853-53-3100

## 8 伊奈西波岐神社（いなせはぎじんじゃ） MAP/B-1

出雲国造の祖神アメノホヒの御子神であるイナセハギが主祭神。美保関に漁に出かけていたコトシロヌシのもとに遣わされ、国譲りの許否を問い、平和裡に解決するための重要な役割を果たしました。

◎交通／出雲大社から車で25分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県出雲市大社町鷺浦102
◎問／出雲観光協会0853-31-9466

## 9 万九千神社（まんくせんじんじゃ） MAP/C-2

神在月に出雲に参集した八百万の神々が最後に立ち寄り、神議をした後、直会（宴）を催し、明年の再会を期して帰途につくというユニークな伝承がある神社です。

◎交通／斐川ICから車で13分
◎駐車場／10台
◎場所／島根県出雲市斐川町併川258
◎問／万九千神社社務所 0853-72-9412

## 10 長浜神社（ながはまじんじゃ） MAP/B-2

国引き神話の主人公ヤツカミズオミツヌタが主祭神。海の向こうから綱で土地を引っ張ってきたことから、綱引き＝スポーツの上達や勝負事に御利益があります。

◎交通／出雲ICから車で8分
◎駐車場／10台
◎場所／島根県出雲市西園町上長浜4258
◎問／0853-28-0383

## 11 佐香神社（さかじんじゃ） MAP/D-2

「出雲国風土記」に楯縫郡の佐香郷でたくさんの神々が集まって酒を造り、長い間、毎日のように宴会をしたとあり、日本酒発祥の地と伝えられています。

◎交通／宍道ICから車で30分
◎駐車場／10台
◎場所／島根県出雲市小境町108
◎問／0853-67-0007

## 12 鹿島神社（かしまじんじゃ） MAP/C-2

オオクニヌシに国譲りを迫ったタケミカヅチを祭ります。武志町は「古事記」の多芸志の小浜で、国譲り交渉のため出雲に来た神々をもてなす宴が開かれた場所といわれています。

◎交通／斐川ICから車で18分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県出雲市武志町673
◎問／0853-22-5263

## 13 上の宮（かみみや） MAP/B-2

旧暦10月の神在祭の期間中、全国から参集した神々が神議をされる社です。出雲大社の境外摂社。

◎交通／出雲大社から徒歩10分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県出雲市大社町杵築北
◎問／出雲観光協会 0853-31-9466

## 14 屏風岩（びょうぶいわ） MAP/B-2

オオクニヌシと使者として高天原から派遣されたタケミカヅチが、国譲りの話し合いをこの岩を背にして行ったといわれています。

◎交通／稲佐の浜から徒歩3分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県出雲市大社町杵築北
◎問／出雲観光協会 0853-31-9466

## 15 つぶて岩（いわ） MAP/B-1

稲佐の浜から日御碕へ向かう途中で見えてきます。国譲りの交渉のなかで、タケミナカタとタケミカヅチが力比べをした際、二柱の神が海に向かって投げた岩が重なってできたといわれています。

◎交通／稲佐の浜から車で8分
◎駐車場／2台
◎場所／島根県出雲市大社町日御碕
◎問／出雲観光協会 0853-31-9466

## 16 猪目洞窟（いのめどうくつ） MAP/B-1

「出雲国風土記」に記載のある黄泉（よみ）の穴はこの洞窟だといわれます。風土記には、この洞窟を夢に見た者は必ず死ぬ、と記されています。

◎交通／斐川ICから車で40分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県出雲市猪目町1338
◎問／出雲観光協会平田支所 0853-63-0893

## 17 加賀の潜戸（かかくけど） MAP/E-1

「出雲国風土記」では、佐太大神が生まれたとされる場所で、母神が金の弓矢を射通した時に、洞窟内が「光りかがやいた」ことから、加賀の地名になったと伝わっています。観光遊覧船で洞窟の神秘体験ができます。

◎交通／JR松江駅から車20分
◎駐車場／20台・無料
◎場所／島根県松江市島根町加賀
◎問／マリンプラザしまね 0852-85-9111

## 18 佐太神社（さだじんじゃ） MAP/E-2

「出雲国風土記」に登場する佐太大神をはじめ、十二柱を祭る出雲三大社のうちの一つ。9月24、25日の御座替祭（ござがえさい）で舞われる佐陀神能はユネスコ無形文化遺産にも指定されています。

◎交通／JR松江駅から車20分
◎駐車場／50台・無料
◎場所／島根県松江市鹿島町佐陀宮内73
◎問／0852-82-0668

## 19 神魂神社（かもすじんじゃ） MAP/E-3

イザナミを主祭神とする古社。社伝によると出雲国造家の始祖アメノホヒが最初に降り立った地とされています。本殿は大社造りとしては現存最古で、国宝に指定されています。

◎交通／JR松江駅から車15分
◎駐車場／20台・無料
◎場所／島根県松江市大庭町563
◎問／0852-21-6379

## 20 熊野大社（くまのたいしゃ） MAP/E-3

クマノクシミケヌ（スサノオ）を祭る神社。鎖火殿には神事に用いる神聖な火を起こす神器を安置。10月15日の鎖火祭は、出雲大社が火起こしの神器を受領するお祭りです。熊野大社は出雲大社と縁が深いのです。

◎交通／JR松江駅から車で40分
◎駐車場／90台・無料
◎場所／島根県松江市八雲町熊野2451
◎問／0852-54-0087

## 21 大野津神社（おおのつじんじゃ） MAP/D-2

大野津神社は、スサノオがヤマタノオロチを退治した時、角と骨がここに流れ着き、「角森」と呼ばれるようになったといわれます。「蛇骨」と呼ばれる御神体を宍道湖に運び、祈願するという雨乞い神事が有名です。

◎交通／JR松江駅から車で30分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県松江市大野町243
◎問／0852-88-2845

## 22 美保神社（みほじんじゃ） MAP/G-2

漁業商売繁盛の神コトシロヌシ、農業子孫繁栄の神ミホツヒメが祭られています。コトシロヌシは出雲大社の主祭神・オオクニヌシの御子神で、出雲大社と美保神社の「両参り」の参拝は欠かせません。

◎交通／JR松江駅から車で50分
◎駐車場／30台・無料
◎場所／島根県松江市美保関町美保関608
◎問／0852-73-0506

## 23 八重垣神社（やえがきじんじゃ） MAP/E-3

スサノオとイナダヒメが主祭神。縁結びで有名な「鏡の池」での縁占いで知られています。和紙に硬貨を乗せ池に浮かべ、それが沈むまでの距離と時間で、待ち人がどこにいて、いつ現れるか占えます。

◎交通／JR松江駅から車で10分
◎駐車場／150台・無料
◎場所／島根県松江市佐草町227
◎問／0852-21-1148

## 24 阿太加夜神社（あだかやじんじゃ） MAP/E-3

アダカヤヌシタキギヒメほか四柱を祭神とします。日本三大船神事「ホーランエンヤ」は、船に城山稲荷神社の御神霊を載せて川を上り阿太加夜社に迎える「渡御祭」、祭事の「中日祭」、お遷りの「還御祭」で構成されています。

◎交通／JR揖屋駅から車で10分
◎駐車場／約10台・無料
◎場所／島根県松江市東出雲町出雲郷587
◎問／0852-52-3468

## 25 揖夜神社（いやじんじゃ） MAP/F-3

揖夜神社は黄泉（よみ）の国、すなわち死の国の世界に縁の深いイザナミを祭る神社です。本殿は大社造りで、神座が左から右に向かっているのが特徴です。

◎交通／JR揖屋駅から徒歩10分
◎駐車場／約5台・無料
◎場所／島根県松江市東出雲町揖屋229
◎問／0852-52-6888

## 26 玉作湯神社（たまつくりゆじんじゃ） MAP/D-3

クシアカルダマ、オオクニヌシ、スクナビコナの三神が祭られています。「湯山主之大神」として崇められてきた「願い石」があり、「叶い石」と重ねて願うことで不思議な力が吹き込まれるといわれています。

◎交通／JR玉造温泉駅から車で6分
◎駐車場／約10台・無料
◎場所／島根県松江市玉湯町玉造508
◎問／0852-62-0006

## 27 黄泉比良坂（伊賦夜坂）（よもつひらさか（いふやさか）） MAP/F-3

死者の国である「黄泉の国」や、スサノオが住む「根の国」と現世の世界との境界とされています。

◎交通／JR揖屋駅から徒歩15分
◎駐車場／約5台・無料
◎場所／島根県松江市東出雲町揖屋2376-3
◎問／松江観光協会 0852-27-5843

## 28 眞名井神社（まないじんじゃ） MAP/E-3

「出雲国風土記」に神名樋野と記される茶臼山の麓に鎮座する古社。イザナキ、アマツヒコネを祭っています。真名井とは神聖な泉のことです。

◎交通／JR松江駅から車で20分
◎駐車場／約10台・無料
◎場所／島根県松江市山代町84
◎問／0852-23-6940

## 29 六所神社（ろくしょじんじゃ） MAP/E-3

出雲国内の神社の祭神を集め祭った総社で、出雲国府のすぐ近くにありました。平安時代後期の国司は総社を参拝することで、国内全ての神社を参拝したことにかえたのです。

◎交通／バス風土記の丘入口下車徒歩20分
◎駐車場／なし（隣接地の史跡出雲国府跡駐車場を利用）
◎場所／島根県松江市大草町496
◎問／0852-23-7373

## 30 石宮神社（いしみじんじゃ） MAP/D-2

オオクニヌシが狩をされた時に、追いかけたイノシシが岩になってしまったうえ、そのイノシシを追った犬も岩になったと「出雲国風土記」に記されています。その岩を祭った神社とされています。

◎交通／JR宍道駅から車で10分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県松江市宍道町白石638
◎問／松江観光協会宍道町支部 0852-55-5802

## 31 内神社・高野宮（うちじんじゃ・たかのみや） MAP/D-2

江戸時代には、出雲の四祈願所の一つでした。オオクニヌシの子である ワカフツヌシやシタテルヒメを祭ります。

◎交通／JR松江駅から車で15分
◎駐車場／あり
◎場所／島根県松江市大垣町746
◎問／0852-88-3254

## 32 イザナミ御陵伝承地（ごりょうでんしょうち） MAP/E-3

イザナミの御神陵と伝えられています。古くから子授け安産の守護神として広く崇敬されたところです。明治33年、宮内省が全国十数か所の御神陵伝説地のなかから、陵墓参考地に認定したものです。

◎交通／JR松江駅から車で25分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県松江市八雲町日吉
◎問／松江観光協会 0852-27-5843

## 33 剱神社（つるぎじんじゃ） MAP/E-3

イザナミからの追っ手を振り払うために、イザナキが剣を抜いたという言い伝えが残ります。

◎交通／JR松江駅から車で25分
◎駐車場／20台・無料（日吉ふれあい会館）
◎場所／島根県松江市八雲町日吉10
◎問／松江観光協会 0852-27-5843

## 34 意宇の杜（おうのもり） MAP/E-3

国引き神話で、ヤツカミズオミツヌタが杖を突きたてて「おえ」といわれたところが意宇の杜で、客の森がその候補地の一つです。

◎交通／JR松江駅から車で15分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県松江市竹矢町494
◎問／松江観光協会 0852-27-5843

## 35 比婆山久米神社（ひばやまくめじんじゃ） MAP/F-4

国生みの神イザナミの御陵と伝えられ、山頂付近に奥の宮があり、麓には下の宮があります。現在も安産の神として参拝者が訪れます。

◎交通／安来ICから車で15分、麓から山頂まで徒歩20分
◎駐車場／あり
◎場所／島根県安来市伯太町横屋
◎問／比婆山のロマンを探求する会 0854-37-1000

## 36 能義神社（のぎじんじゃ） MAP/F-3

「出雲国風土記」に登場する四大神の一つノキノオオカミとゆかりのある神社。出雲国造家とも関係の深い神社とされています。

◎交通／安来ICから車で15分
◎駐車場／あり
◎場所／島根県安来市能義町366
◎問／能義交流センター 0854-23-0764

## 37 富田八幡宮（とだはちまんぐう） MAP/E-3

平景清が月山山頂にあった勝日神社を移し、富田八幡宮となったといわれています。祭神は応神天皇ですが、山頂や山麓にオオクニヌシを祭った伝承もあります。

◎交通／安来ICから車で20分
◎駐車場／あり
◎場所／島根県安来市広瀬町広瀬86-14
◎問／0854-32-2654

## 38 八俣大蛇公園（やまたのおろちこうえん） MAP/C-3

ヤマタノオロチ神話のなかで、スサノオが斐伊川の上流から流れてきた箸を見つけて拾った場所が、木次町新市の地であったと伝えられています。

◎交通／JR木次駅から車で3分
◎駐車場／斐伊川河川敷駐車場利用・無料
◎場所／島根県雲南市木次町新市
◎問／雲南市観光協会 0854-42-9770

## 39 温泉神社（おんせんじんじゃ） MAP/C-4

スサノオがヤマタノオロチを退治し、クシナダヒメを助けたというヤマタノオロチ神話に登場するクシナダヒメの父アシナヅチと母テナヅチのものとされるお墓がある場所です。

◎交通／JR木次駅から車で25分
◎駐車場／10台・無料
◎場所／島根県雲南市木次町湯村1060
◎問／0854-48-0417

## 40 印瀬の壷神（いんぜのつぼがみ） MAP/C-3

スサノオがヤマタノオロチを退治した時に呑ませた八つの酒壺の一つと伝えられています。八口神社の境内にあります。

◎交通／JR木次駅から車で15分
◎駐車場／あり・無料
◎場所／島根県雲南市木次町西日登1524-1
◎問／雲南市観光協会 0854-42-9770

## 41 尾留大明神旧社地（おるだいみょうじんきゅうしゃち） MAP/C-3

スサノオがヤマタノオロチの尾から剣を取り出した場所と伝えられています。この剣はクサナギノツルギとも、アメノムラクモノツルギとも呼ばれています。

◎交通／JR木次駅から車で15分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県雲南市加茂町三代
◎問／雲南市観光協会 0854-42-9770

## 42 八本杉（はっぽんすぎ） MAP/C-3

スサノオが退治したヤマタノオロチの八つの頭を埋めて、その上に八本の杉を植えたと伝えられている場所です。

◎交通／JR木次駅から車で5分
◎駐車場／5台・無料
◎場所／島根県雲南市木次町里方
◎問／雲南市観光協会 0854-42-9770

## 43 佐世神社（さじじんじゃ） MAP/D-3

スサノオが「佐世の木の葉」を頭に挿して舞っている時、その木の葉が地に落ちたことから「佐世」という地名になったといわれています。

◎交通／JR出雲大東駅から車で12分
◎駐車場／なし
◎場所／島根県雲南市大東町下佐世1202
◎問／0854-43-3483

## 44 須我神社（すがじんじゃ） MAP/D-3

ヤマタノオロチを退治したスサノオが、クシナダヒメとともにこの地に到り、造った「日本初之宮」といわれています。また、スサノオが日本初の和歌を詠んだ地とされています。

◎交通／JR出雲大東駅から車で30分
◎駐車場／30台・無料
◎場所／島根県雲南市大東町須賀260
◎問／0854-43-2906

## 45 鬼神神社（おにがみじんじゃ） MAP/E-5

スサノオとイソタケルを祭り、鳥居右手には乗ってきた船が岩になったといわれる「岩船大明神」があります。神社裏手の山は「船燈山」と呼ばれ、「イソタケルの御陵墓」と伝えられます。

◎交通／松江道木次ICまたは高野ICから車で1時間
◎駐車場／なし
◎場所／島根県仁多郡奥出雲町大呂2058-2
◎問／奥出雲町観光協会 0854-54-2260

## 46 稲田神社（いなだじんじゃ） MAP/D-5

祭神は、ヤマタノオロチ神話に登場するイナダヒメです。イナダヒメ誕生の地と伝えられ、そのかたわらには姫の産湯の池とのいわれをもつ池があります。

◎交通／松江道木次ICまたは高野ICから車で50分
◎駐車場／約20台
◎場所／島根県仁多郡奥出雲町稲原2128-1
◎問／奥出雲町観光協会 0854-54-2260

## 47 佐白地区（さじろ） MAP/D-4

佐白地区の「長者屋敷跡」はアシナヅチ、テナヅチの住居跡といわれています。「鏡が池」はクシナダヒメが鏡代りに顔を映したとされ、この水でオロチに飲ませる酒を造り、姫の姿を池に映してオロチに飛びつかせたとも伝えられます。

◎交通／松江道木次ICから車で40分または高野ICから50分
◎場所／島根県仁多郡奥出雲町佐白
◎問／奥出雲町観光協会 0854-54-2260

## 48 粟嶋神社（あわしまじんじゃ） MAP/G-3

オオクニヌシとともに葦原中国の国づくりを行ったスクナビコナが祭られています。人魚の肉を食べた娘が800年間生きたという「八百比丘尼（やおびくに）」の伝説も残されています。

◎交通／JR米子駅から車で10分
◎駐車場／約10台・無料
◎場所／鳥取県米子市彦名町1404
◎問／0859-29-3073

## 49 阿陀萱神社（あだかやじんじゃ） MAP/G-4

オオクニヌシとヤカミヒメが結ばれて生まれたタキキヒメが、因幡の国への里帰りの途中に指を挟まれ、ここに留まって鎮守神になったとされる神社です。

◎交通／山陰道米子南ICから車で15分
◎駐車場／約4台・無料
◎場所／鳥取県米子市橋本623
◎問／米子市観光協会 0859-37-2311

## 50 天神垣神社（あめのかみがきじんじゃ） MAP/H-4

主祭神はスクナビコナ。周辺に古墳群があり古来多くの人が住んでいたと思われます。収蔵庫では、九州との交流をうかがわせる重要文化財の石馬が展示されています。

◎交通／山陰道淀江ICから車で3分
◎駐車場／上淀白鳳の丘展示館駐車場約20台・無料
◎場所／鳥取県米子市淀江町福岡1016
◎問／上淀白鳳の丘展示館 0859-56-2271

## 51 唐王神社（とうのうじんじゃ） MAP/H-3

唐王御前ことスセリヒメが祭られています。玉垣内の砂をまけば毒虫が退散するとの言い伝えは、スサノオの試練を乗り越えて結ばれたオオクニヌシとスセリヒメの二人の伝承とのゆかりをうかがわせます。

◎交通／山陰道大山ICから車で4分
◎駐車場／3～4台
◎場所／鳥取県西伯郡大山町唐王725
◎問／壱宮神社 0859-53-4060

## 52 豊宮神社（とよみやじんじゃ） MAP/H-3

境内にオオクニヌシの娘シタテルヒメが祭られています。火の神を生むことに、イザナミをはじめ幾多の神々が命を落としましたが、シタテルヒメは難なく生み出したと伝わることから、安産の守り神として広く慕われています。

◎交通／山陰道淀江ICから車で7分
◎駐車場／10台
◎場所／鳥取県西伯郡大山町上萬1124
◎問／壱宮神社 0859-53-4060

## 53 赤猪岩神社（あかいしじんじゃ） MAP/G-4

オオクニヌシが兄弟神たちに騙されて、赤く焼けた大岩を抱きとめさせられ、大やけどを負ったとされる場所。社殿の裏には大岩が地中深くに封印されていると伝わります。オオクニヌシを主祭神とします。

◎交通／JR米子駅から車で20分
◎駐車場／バス4台、車20台・無料
◎場所／鳥取県西伯郡南部町寺内232
◎問／南部町観光協会 0859-30-4822

## 54 清水井（しみずい） MAP/G-4

落命したオオクニヌシを蘇らせる薬をつくるために、ウムギヒメ（ウムカイヒメ）が水を汲んだとされる泉。貝殻を削った粉を清水井で練って塗ったところ、蘇生したといわれています。

◎交通／赤猪岩神社から徒歩30分
◎駐車場／なし
◎場所／鳥取県西伯郡南部町清水川230
◎問／南部町観光協会 0859-30-4822

## 55 母塚山（はつかやま） MAP/G-4

火の神を産んで命を落としたイザナミを葬った地だと言い伝えられています。展望台から臨む大山、弓ヶ浜半島の景色は絶景。写真は母塚山から見た大山です。

◎交通／JR米子駅から車で20分
◎駐車場／車6台・無料
◎場所／鳥取県西伯郡南部町福成
◎問／南部町観光協会 0859-30-4822

## 56 大石見神社（おおいわじんじゃ） MAP/F-6

古事記ゆかりの神社。オオクニヌシがヤカミヒメとともに隠れ住んだとも、兄弟神たちに殺されたオオクニヌシが二度目の再生を果たしたともされています。境内にそびえる推定樹齢600年のオツリキタイコイチョウも見事。

◎交通／中国道新見ICから車で30分
◎駐車場／あり・無料
◎場所／鳥取県日野郡日南町上石見819
◎問／0859-83-1113

## 57 白兎神社（はくとじんじゃ） MAP/H-1

因幡のシロウサギ神話の舞台。皮膚病ややけどなどに効くと信仰されてきました。うさぎが傷口を洗い、治療したといわれる「御身洗（みたらし）池」があり、季節を問わず水位が一定のため、不滅不増の池といわれています。

◎交通／鳥取道鳥取ICから車で20分
◎駐車場／普通車110台・大型車13台・無料
◎場所／鳥取県鳥取市白兎603
◎問／0857-59-0047

## 58 売沼神社（めぬまじんじゃ） MAP/H-1

因幡のシロウサギ神話に登場し、オオクニヌシと結ばれたヤカミヒメを祭る神社です。

◎交通／鳥取道河原ICから車で10分
◎駐車場／あり・無料
◎場所／鳥取県鳥取市河原町曳田169
◎問／河原城風土資産研究会 0858-85-0046

古事記・日本書紀・出雲国風土記

# 神話ゆかりの地

## 周遊ドライブマップ

中海・宍道湖・大山圏域イメージキャラクター「ウンパくん」

0 1 2 3 4 5 6 7 8km

高速道路
自動車専用道路
国道
県道・その他道路
鉄道(JR)
鉄道(民鉄)
●観光スポット 温泉 道の駅 空港

### 島根県立古代出雲歴史博物館

神話シアターでは4本の映像がドラマ仕立てで20分ずつ上映。出雲神話のすべてがわかります。出雲大社・出雲国風土記・青銅器の展示も必見。
◎交通／山陰道「出雲IC」から国道431号線経由で約20分
◎駐車場／普通車244台（無料）
◎場所／島根県出雲市大社町杵築東99-4
◎問／島根県立古代出雲歴史博物館 0853-53-8600